



# こくろうよなご

第17号

2025年5月10日

発行責任者 倉下文明

編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！



次に、25年3月ダイヤ改正より鳥取駅などで「イコカ」が使用開始となりましたが、鳥取以東の山陰本線や智頭急行内では使用出来ず、県外からこられたお客様をおかすご不便をおかけするこ

自治体訪問には、坂根鳥取市議会議員にも同行して頂きました。はじめに鳥取市における公共交通の現状について、「路線バスは市の補助で維持している。若狭鉄道・智頭急行なども国の補助も受ける中で維持が出来ている。何としても交通ネットワークを維持し

## 厳しい交通事情！

米子地方本部は、一昨年4月の「改正地域公共活性化再生法」の成立以降、公共交通を取り巻く現状や課題を探ろうと、直接地方自治体にお邪魔をして、交通施策を担当する実務者の方との意見交換を継続して取り組んできています。これまでに鳥取・島根両県併せて15の自治体に足を運んできました。

4月18日には、県庁所在地でありながら、長い間「IC」化されず、本年3月のダイヤ改正にてやっとのこと「IC機器」の導入に至った鳥取駅のある鳥取市を訪れてきました。

# 公共交通の課題を探る！

## 15の自治体を訪問

なければならぬ

「現在は、バス運転手の確保も出ており路線の維持も出来ているが、地域によってはバス会社が撤退、市が委託して運営している地区もある」など報告いただきました。

他の市町村と同じように、公共交通を取り巻く厳しい現状と維持していくため尽力いただいていることを強く感じてきました。

## 使用開始しても!?

また、障がい者など交通弱者の方にも利用しやすい鉄道への要望も頂きました。例えば、普通列車の車内には電光掲示の案内がなく、列車遅延時などに放送を流されても「聴覚に障害にある方には分からない」という声があることや養護学校に通う学生が通学で利用する無人駅のホーム上の安全確保などの課題が報告されていました。

令和8年度より、県内全域のバス路線で「イコカ」使用となるようですが、せっかく共通ICとして「イコカ」を選択したのに、肝心のJRで利用できない区間があるとは本末転倒と言われても仕方ありません。

とになっているのでは!?

## 誰にも優しい鉄道に!

また、障がい者など交通弱者の方にも利用しやすい鉄道への要望も頂きました。例えば、普通列車の車内には電光掲示の案内がなく、列車遅延時などに放送を流されても「聴覚に障害にある方には分からない」という声があることや養護学校に通う学生が通学で利用する無人駅のホーム上の安全確保などの課題が報告されていました。

## 並んだ掲示板を見比べて!

4月12日、各分会

現在、中国地方の中山間地にある路線について、存廃が議論されていますが、繋がっていてもその鉄道路線であり、市内に該当する路線が存在しなくても、その行方については注視をされています。広域合併により広大な範囲を受け持つ鳥取市において、公共交通網を張り巡らせていくための課題が少し見えた意見交換となりました。

駅舎のシンプル化により、雨・風が凌げないなどの待合環境の悪化についても指摘がありました。

## 平和の歌を高らかに!!

4月19日、米子市公会堂前広場にて「第4回平和フォークジャンボリー」が開催され、国労米子地方本部の組合員で結成している「ゆかいな仲間たち」が

演されました。メンバーは、渡邊透さんをリーダーに、佐野木徹さん、大石文紀さんの3人で、反戦歌や懐かしのフォークソングを披露しました。



ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとハマスの紛争などにより、今日も世界各地で罪もない多くの民間人・女性・子どもが傷つけられ、亡くなっています。世界中から戦争や紛争が無くなるよう頑張ろう!

「規定の改定がタブレットに変わり、細かいところまでの確認がしづらい状況にある」「制度変更などの勉強会はあるが、実際の機器の取り扱いの実習は無く個人任せになっている」「ハーブ勤務の為、長く休むとタブレットに

着信が随分溜まっている。乗務前には必ず目を通さなければならず、時間がかかる」「5時起床で5時20分から誘導をする。シニア社員が多く、体がいけないなど報告されています。教育で大事なことは、教える相手が理解しているのかどうかという事で、「教えた」ことをもって自己満足をされても困るのですが、組合員が減少し、各職場に点在する中、これまで以上に意識的に情報共有の取り組みを進めることも意思統一しながら会議を終えてきました。